

12 歳以上 17 歳以下の者への新型コロナワクチン 3 回目接種に向けた ファイザー社製ワクチンの確保に関する緊急提言

全国知事会では、18 歳以上の希望する者への 3 回目接種を推進するに当たり、国民のモデルナ社製ワクチンへの不安等から、ファイザー社製ワクチンの更なる確保を継続して要請してきたところである。

こうした中、3 月 1 日付け厚生労働省事務連絡において、ファイザー社製ワクチンの追加配分が示されたことから、各都道府県では 4 月以降に配送される分も含めて速やかに配分計画を見直し、市町村に示していた。

しかしながら、3 月 11 日付け厚生労働省事務連絡において、12 歳以上 17 歳以下の者へのワクチン 3 回目接種の実施に向けた準備とともに、これまでに国から示された配分枠内で使用するファイザー社製ワクチンを確保することが求められた。

その後、3 月 25 日には厚生労働大臣指示が改正され、12 歳以上 17 歳以下の者への接種が開始されることとなったが、市町村では配分計画に基づき医療機関等と調整し、予約枠を設定するなど、具体的な接種計画を策定し、既に予約の受付とともに 3 回目接種を進めている。

そうした状況で、新たに必要となるファイザー社製ワクチンを確保するには、ファイザー社製の接種を希望する方の予約をモデルナ社製に振り替えるなど、既に進行中の接種計画の変更が必要となるが、現実的には困難である。

については、都道府県で市町村間の調整を行ってもなお不足が生じる場合は、国の責任において、令和 4 年契約分の配送前倒しによる追加確保などにより、必要なファイザー社製ワクチンを確保することを強く要請する。

令和 4 年 3 月 31 日

全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部

本部長	鳥取県知事	平井 伸治
本部長代行・副本部長	福島県知事	内堀 雅雄
ワクチンチームリーダー	高知県知事	濱田 省司